令和２年度二本松北小学校　学校だより　Ｎｏ．１０６ **輝け！北っ子！**	令和３年　２月２６日 文責：校長　大内雅之

登校班　班長引継ぎ会
～バトンタッチをスムーズに～

２５日、２校時の休み時間を使って「登校班班長引継ぎ会」を行いました。これは、６年生がいる間にリーダーをスムーズにバトンタッチするためのもので、班長さんから、新班長さんへ集合時刻や出発時刻、その他諸注意を伝えた後、班旗が渡されました。

会の冒頭には、校長から、下級生の命を守り通してくれた６年生への感謝の言葉とともに、班長の役割についてあらためて新班長に伝えました。

○　命を守ること。
　（命の危険を感じる行為には厳しく対処すること）
○　地域の方への礼儀を大切にすること。
　（あいさつ、感謝の気持ちを表す。地域づくりの担い手であることの自覚を。）

教師も、親も同じですが、リーダーの姿を後輩の子どもたちはしっかり見ていて、その姿を「正しい姿」として自分の行動に反映していきます。意識した行動をお願いしたいと思っています。

さらに「伝統」とは「引き継ぐ」だけでなくさらによくなる「＋α」を付け加えていくことだとも話しました。新班長の活躍を期待しています。そして、６年生の班長さん、今まで本当にありがとう。

ちょっと　いい話
～あいさつ＋α　言葉にして伝える～

子どもたちの登校に関して、ちょっとうれしい話を耳にしましたので紹介します。若宮の方からのお話しでした。こんなお話しです。

> 子どもたちは登校時、見守り隊の方やすれ違う地域の方に「おはようございます」と大きな声であいさつをしてくれてとっても気持ちがいいですね。
> 先日は、あいさつだけではありませんでした。いつもの通り朝のあいさつを交わした後、一人の子がさらに声を掛けてくれました。
> 「いつもありがとうございます。」
> なんかとってもすがすがしい気持ちになり、元気がわいてきました。こちらこそありがとう。

すごい地域づくりの瞬間だと思っています。どんな素晴らしい施策より、地域を元気にする一言だったように思うのです。もし、地域全体でもっともっと「ありがとう」が広がっていったら・・・。夢が広がります。優しさが広がります。

見守り隊の方をはじめ、日頃から子どもたちの様子を見ていてくださる地域の方に学校からいろいろと「お願い」することはあっても、なかなか「御礼」「感謝」を伝えるということがなかったなぁと反省しています。もちろん、「御礼」「感謝」の気持ちはもっているつもりですが、きちんと言葉にしたりして表に出さないとなかなか伝わらないものだともわかっています。

子どもの言葉から、あらためてきちんと言葉にすることに大切さを教えてもらったような気がします。あらためて・・・

◆◆

見守り隊の方々、地域の皆様、いつも子どもたちの命を守っていただき、本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いします。

令和　３年　２月２６日
二本松北小学校　校長　大内　雅之

◆◆

※　保護者の皆様へ
近所やお知り合いで、見守り活動や地域行事など、日頃より子どものことを気にかけて行動していただいている方へ、「校長が本当に感謝している」とお伝えいただければ幸いです。